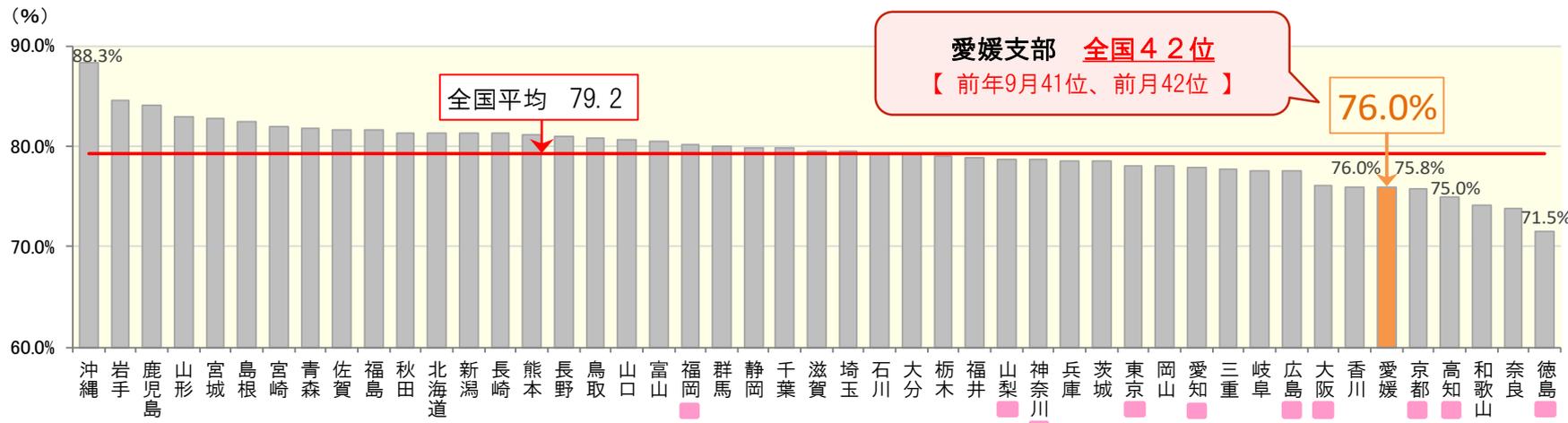


ジェネリック医薬品の使用促進について

1. ジェネリック医薬品の使用状況

(1) 協会けんぽ都道府県支部別 ジェネリック医薬品使用割合（令和2年9月・数量ベース）

令和2年9月の愛媛支部加入者におけるジェネリック医薬品使用割合は76.0%、全国42位であり、前年同月からの伸びは2.5%ポイントとなっている。
同月までに80%以上とする目標は達成できなかった。



・対前年同月差

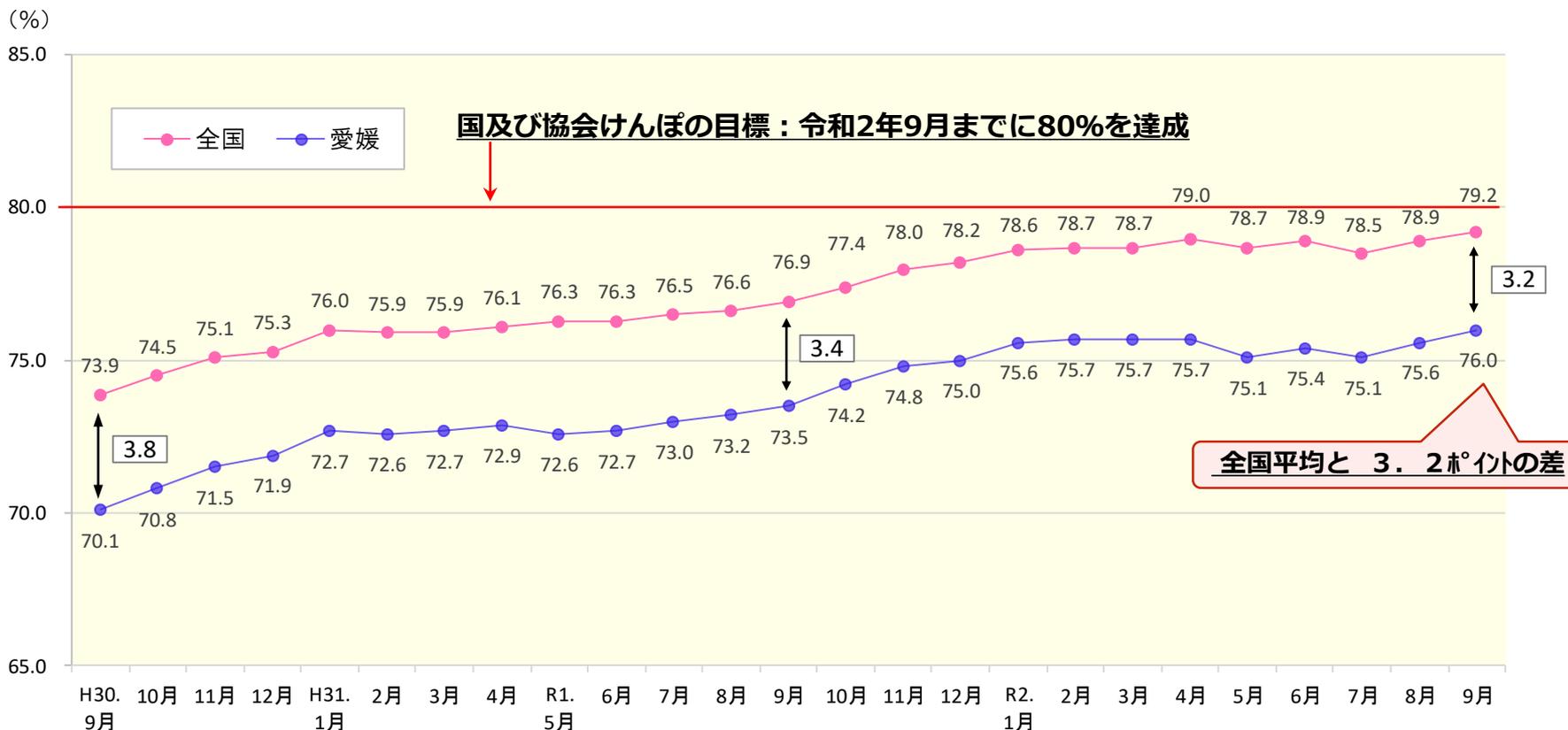


1. ジェネリック医薬品の使用状況

(2) 協会けんぽ愛媛支部 ジェネリック医薬品使用割合推移 (数量ベース)

愛媛支部の使用割合は全国の伸びを上回って推移しており、令和2年9月の76.0%について、全国との差は平成30年9月の3.8ポイント差から3.2ポイント差に縮小した。

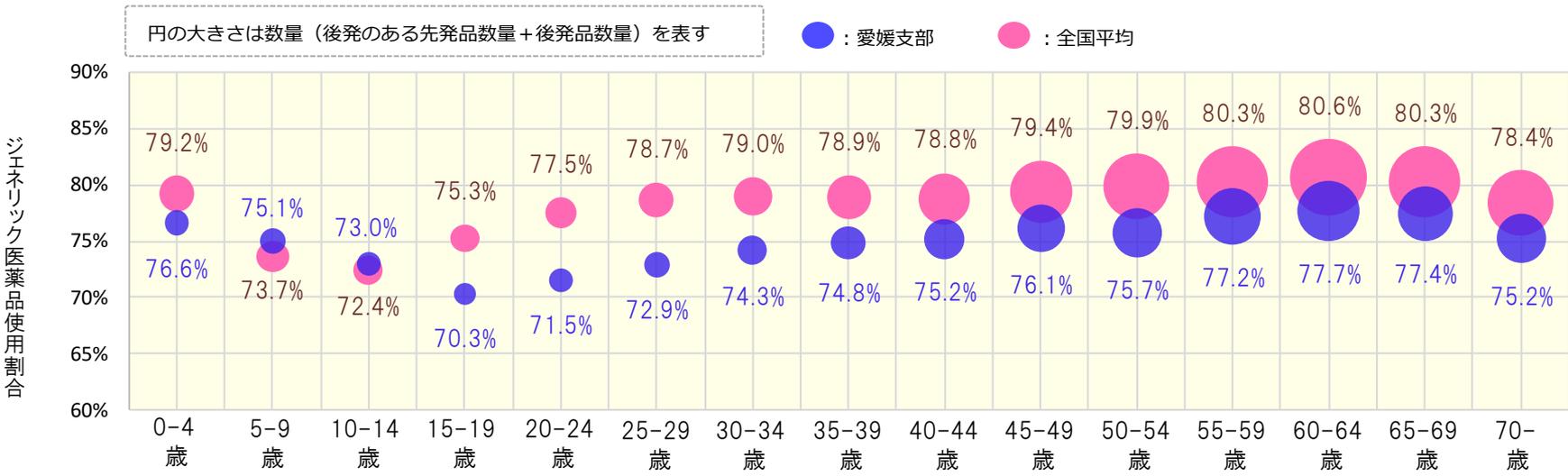
令和2年6月に新規収載されたジェネリック医薬品の影響で、6月以降の伸びが鈍化している。



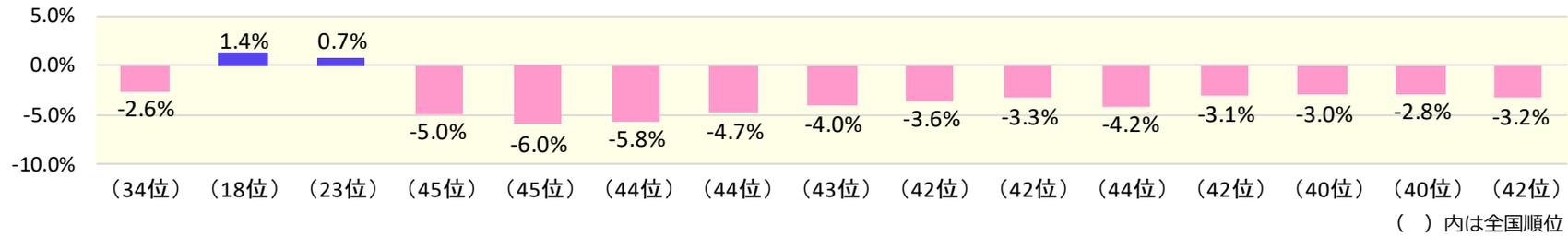
1. ジェネリック医薬品の使用状況

(3) 協会けんぽ愛媛支部 年齢階級別 ジェネリック医薬品使用割合 (令和2年9月・数量ベース)

5歳～9歳、10歳～14歳は全国平均より高いが、それ以外の階層は全国平均より低い。
 数量では愛媛支部および全国平均ともに55歳以上の規模が大きく、全体の約5割を占めている。



・全国平均との差

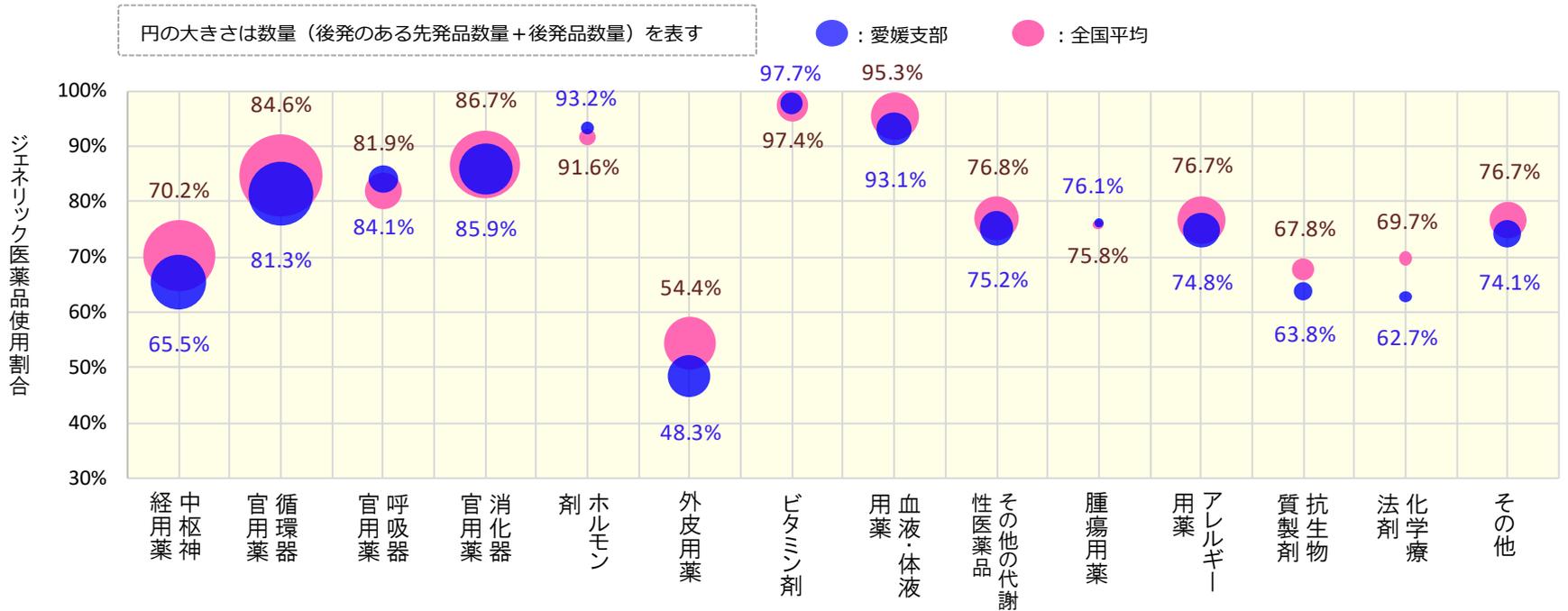


※端数整理の関係上、全国平均との差が整合しない場合がある。

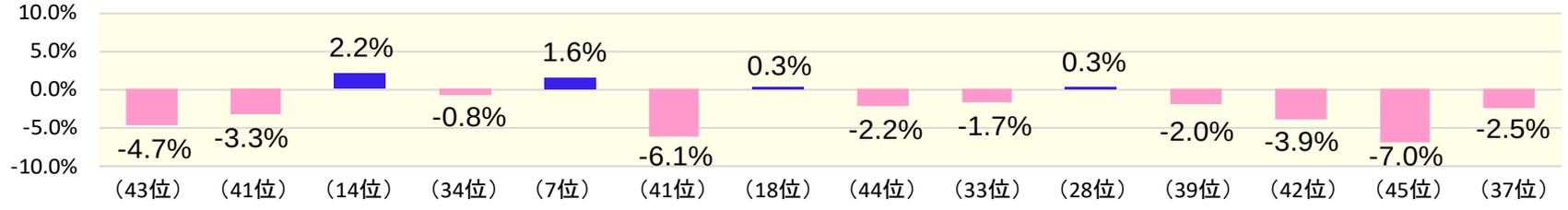
1. ジェネリック医薬品の使用状況

(4) 協会けんぽ愛媛支部 主な薬効分類別 ジェネリック医薬品使用割合 (令和2年9月・数量ベース)

数量が多い循環器用薬、中枢神経用薬が全国平均との差が▲3.3%、▲4.7%と大きい。



・全国平均との差



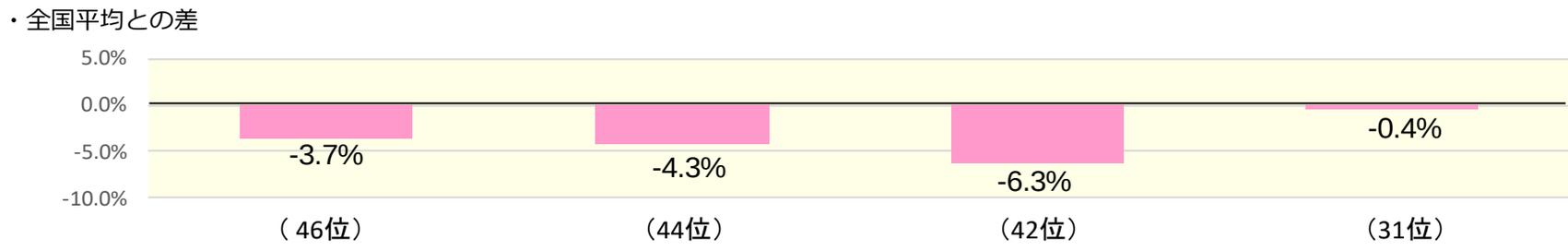
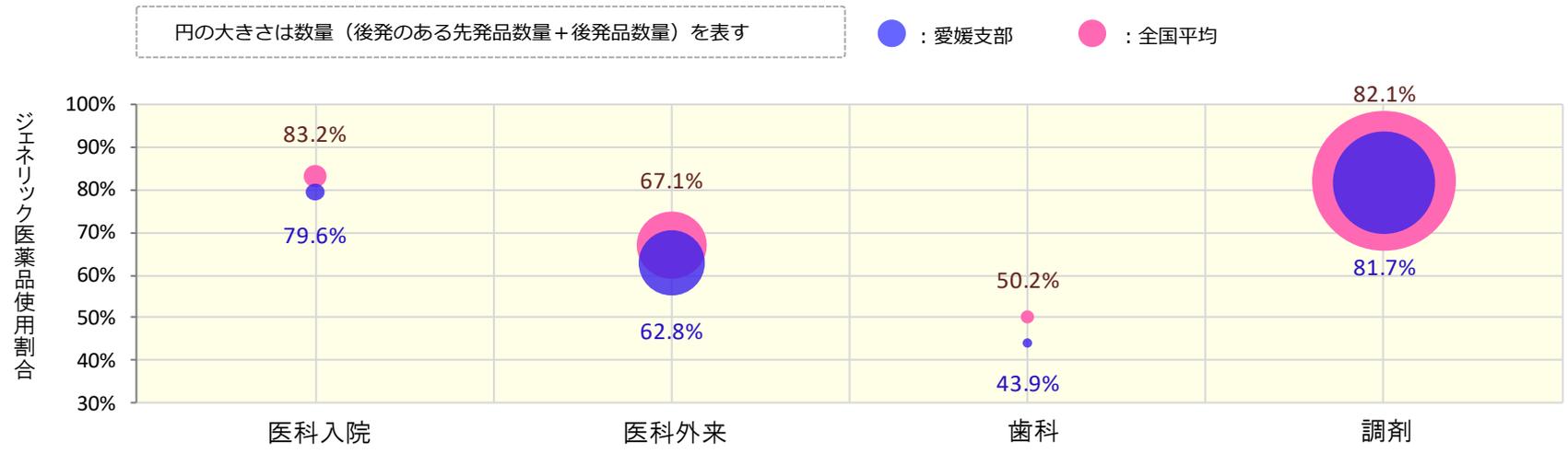
()内は全国順位

※端数整理の関係上、全国平均との差が整合しない場合がある。

1. ジェネリック医薬品の使用状況

(5) 協会けんぽ愛媛支部 診療種別 ジェネリック医薬品使用割合 (令和2年9月・数量ベース)

薬局の調剤分の規模が大きく、使用割合は80%を超えている。
 医科外来（外来による院内処方）の規模も大きいですが、使用割合は62.8%で全国44位と低い。



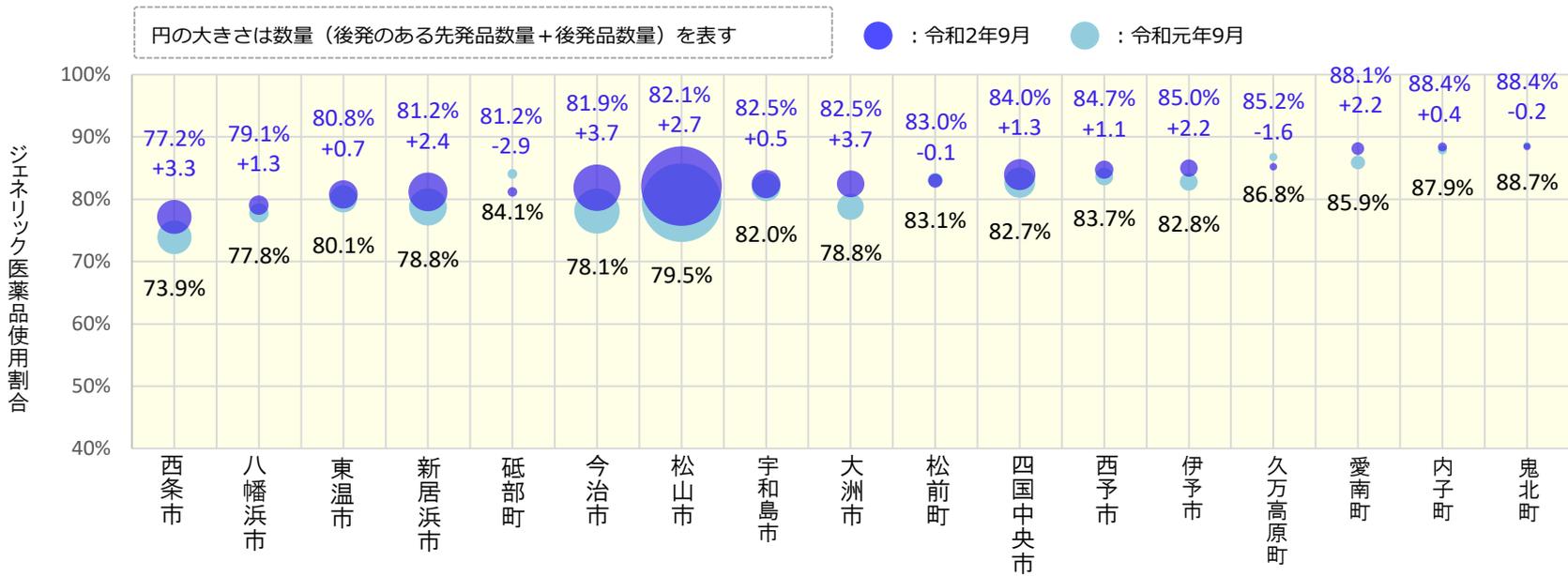
() 内は全国順位

※端数整理の関係上、全国平均との差が整合しない場合がある。

1. ジェネリック医薬品の使用状況

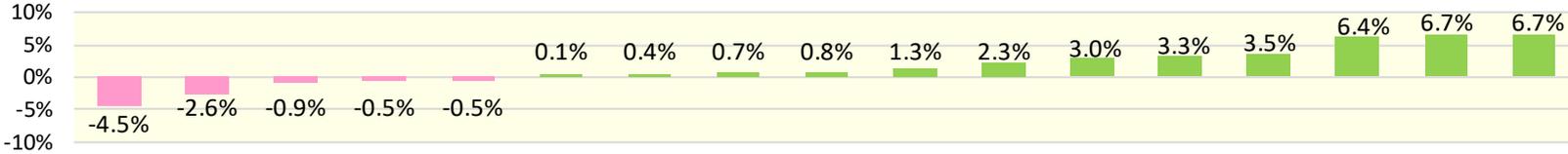
(6) 協会けんぽ愛媛支部 市町別（薬局所在地） ジェネリック医薬品使用割合（令和2年9月・数量ベース（調剤のみ））

県内でも地域差があり、一番高い鬼北町（88.4%）と一番低い西条市（77.2%）では11.2%の差となっている。
 数量では松山市の規模が最も大きく、次いで今治市、新居浜市の順となっている。



※端数整理の関係上、前年同月差が整合しない場合がある。
 ※調剤した薬局数が3未満の市町は表示していない。

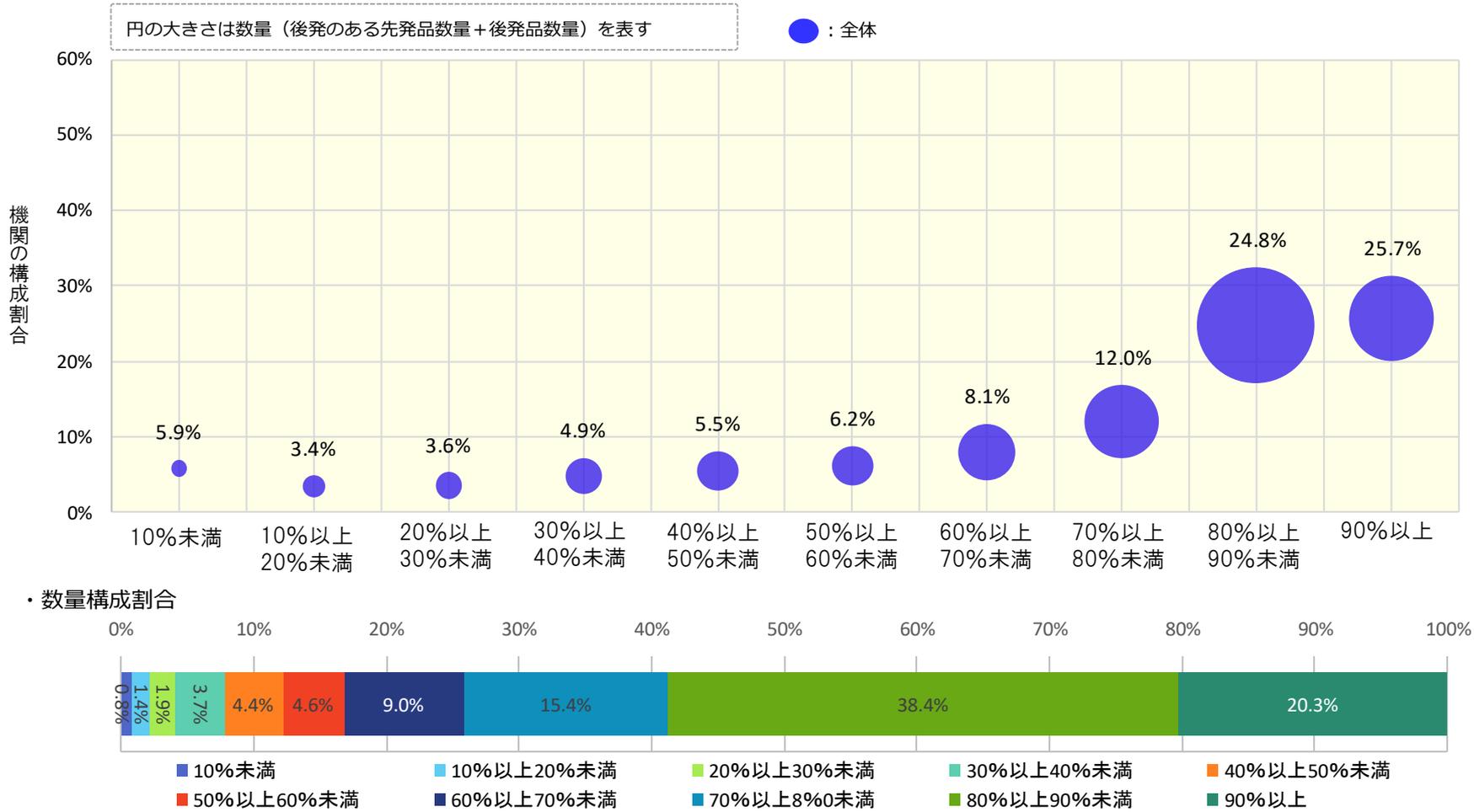
・県調剤平均との差



2. ジェネリック医薬品の医療機関及び薬局ごとの使用状況

(1) 協会けんぽ愛媛支部 ジェネリック医薬品使用割合別 構成割合 (令和2年4月・数量ベース)

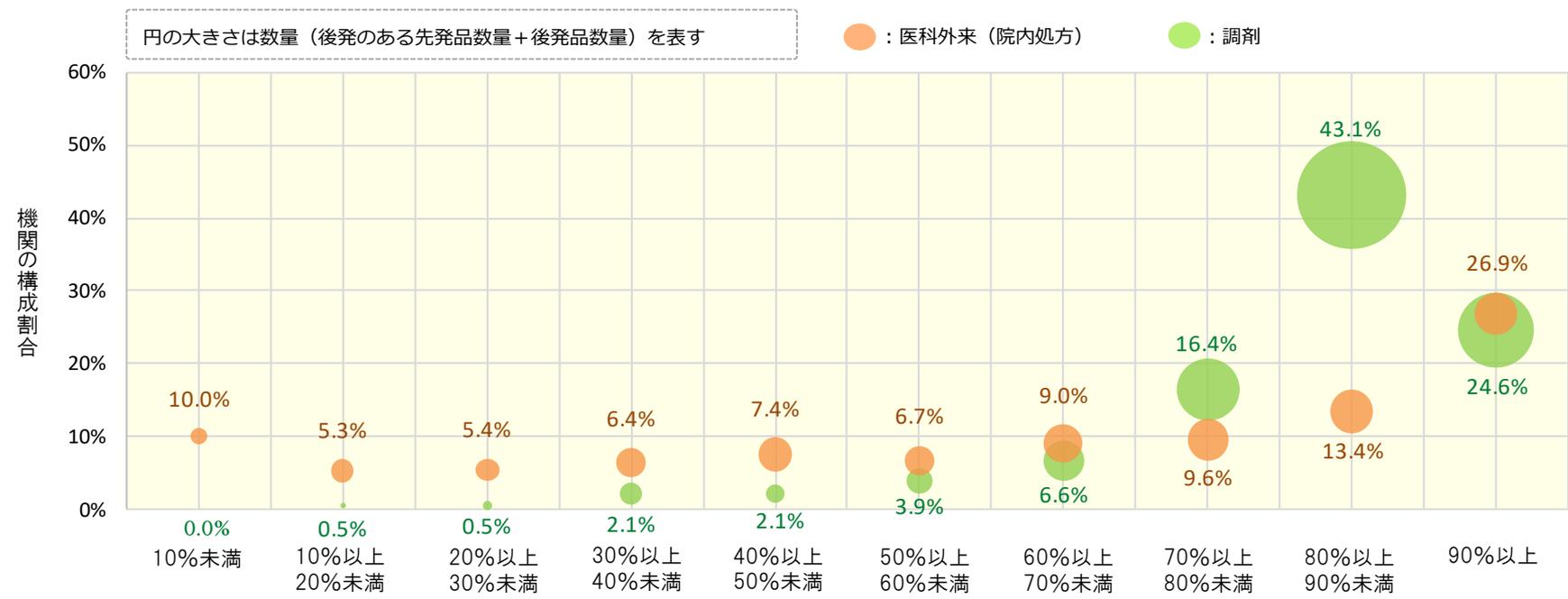
全体では、使用割合80%以上90%未満の機関が最も多く、数量でも38.4%と最も多い。
 医科外来では、使用割合90%以上の医療機関が最も多く、数量は15.7%と2番目に多い。
 調剤では、使用割合80%以上90%未満の薬局が最も多く、数量でも47.7%と最も多い。



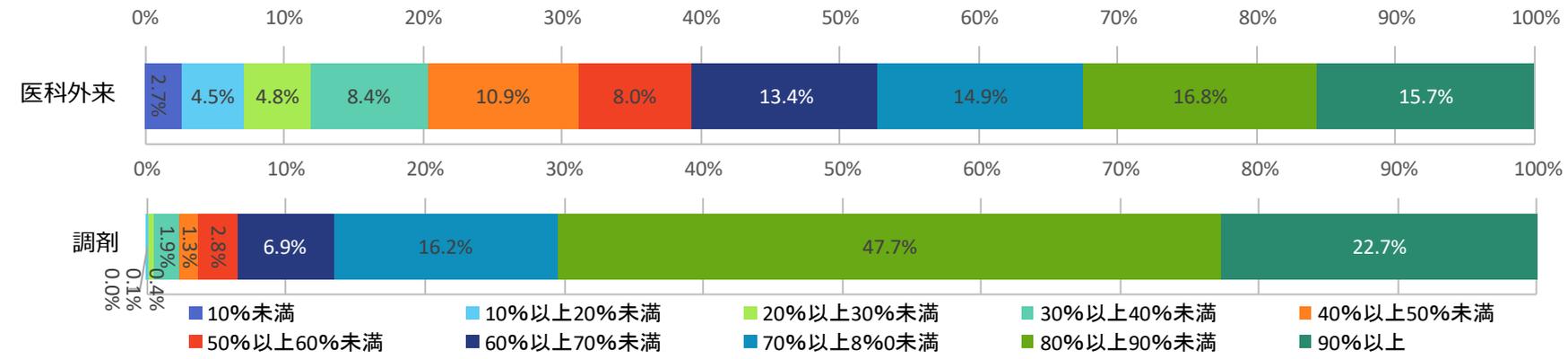
※愛媛県に所在地のある医療機関（医科入院+医科外来）及び薬局の集計

2. ジェネリック医薬品の医療機関及び薬局ごとの使用状況

(2) 協会けんぽ愛媛支部 ジェネリック医薬品使用割合別 診療別 構成割合 (令和2年4月・数量ベース)



・数量構成割合



※愛媛県に所在地のある医療機関及び薬局の集計

3. ジェネリック医薬品使用促進の取組み

(1) ジェネリック医薬品軽減額通知の実施

- ・ ジェネリック医薬品に変更した場合の薬代の軽減見込み額をお知らせするもの。
- ・ 年度内に2回、8月と2月に送付を実施。
- ・ 令和元年度2回目の通知からは、対象者を18歳以上から15歳以上の加入者に拡大。

ジェネリック医薬品軽減額通知の軽減効果額等一覧（愛媛支部）

	一回目通知				二回目通知			
	通知件数	切替者数	切替率	軽減額/月(円)	通知件数	切替者数	切替率	軽減額/月(円)
平成30年度	48,930	13,017	26.6%	19,128,289	39,764	11,243	28.3%	17,105,310
令和元年度	47,525	13,469	28.3%	17,439,221	40,509	10,904	26.9%	17,206,423
令和2年度	47,693	—	—	—	41,351	—	—	—

ジェネリック医薬品軽減額通知の軽減効果額等一覧（全国）

	一回目通知				二回目通知			
	通知件数	切替者数	切替率	軽減額/月(円)	通知件数	切替者数	切替率	軽減額/月(円)
平成30年度	3,714,412	1,008,670	27.2%	1,456,751,119	2,982,936	849,325	28.5%	1,291,867,049
令和元年度	3,565,539	1,009,589	28.3%	1,313,169,513	3,000,668	809,136	27.0%	1,276,904,517
令和2年度	3,688,799	—	—	—	3,110,825	—	—	—

ジェネリック医薬品軽減額通知（イメージ）



3. ジェネリック医薬品使用促進の取組み

(2) 医療機関、薬局への働きかけ

- 医療機関および薬局へジェネリック医薬品目の採用の参考に「後発医薬品実績リスト」を郵送または訪問にて提供。
 発送件数：125件 訪問件数：8件
- 医療機関および薬局ごとにジェネリック医薬品使用割合や地域内での立ち位置を見える化し、施設属性に応じた「ジェネリック医薬品に関するお知らせ」を郵送にて提供。
 発送件数：医療機関 676件（院外処方版373件、院内処方版303件） 薬局 438件

後発医薬品実績リスト

1. 医療機関における「後発あり先発医薬品」使用状況
 2. 医療機関における「後発あり先発医薬品」に関する後発医薬品実績リスト
 3. 医療機関における「後発あり先発医薬品」に関する後発医薬品実績リスト
 4. 医療機関における「後発あり先発医薬品」に関する後発医薬品実績リスト

ジェネリック医薬品に関するお知らせ

1. 医療機関における「後発あり先発医薬品」に関する後発医薬品実績リスト
 2. 医療機関における「後発あり先発医薬品」に関する後発医薬品実績リスト
 3. 医療機関における「後発あり先発医薬品」に関する後発医薬品実績リスト
 4. 医療機関における「後発あり先発医薬品」に関する後発医薬品実績リスト

3. ジェネリック医薬品使用促進の取組み

(3) 広報等

駅看板設置、新聞への掲載、希望シール及びお薬手帳カバーの配布など広範囲に渡る活動を実施。

駅看板

設置場所：松山市駅内 サイズ：W7,000mm×H1,750mm
設置期間：令和2年6月5日～令和3年3月31日（設置期間延長予定）



【松山市駅内建植看板】

新聞

掲載紙：愛媛新聞
仕様：全5段フルカラー
掲載日：令和2年8月9日



【愛媛新聞掲載原稿】

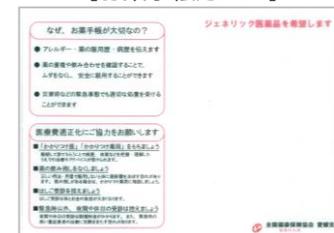
ジェネリック医薬品希望シール及びお薬手帳カバー

「愛媛県イメージキャラクターみきゃん」とコラボしたジェネリック医薬品希望シールとジェネリック医薬品希望と記載したお薬手帳カバーを作成し、薬局等を通し加入者へ配布

【希望シール】



【お薬手帳カバー】



その他

- ・ 社会保険料の納入告知書に同封される「協会けんぽニュース」を利用した広報（令和2年4月、5月号）
- ・ メールマガジンによる広報（毎月5日配信 令和2年5月、7月、12月号）
- ・ 無料生活情報誌ウイークリーえひめリックへの広告掲載（令和3年3月26日号予定）
- ・ ラジオCMを利用した広報（南海放送：令和2年7月、12月の毎週日曜日（30秒CM））